

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		花園消防署資器材管理事業		担当課	花園消防課	担当係	花園消防署	管理番号	4524	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができて安全・安心なまちづくり		根拠法令 個別計画等	・消防法				
	小項目	2	消防・救急体制の充実							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		資器材管理事業とは、市民の生命、身体及び財産を守るために火災、救急、救助等の災害活動時及び訓練時に使用する資器材の購入、更新、修繕及び保守点検を実施し、多種多様な災害現場に対応できるよう安定供給を図り、活動体制を維持するものである。								
目的 ※何のために		災害から市民の生命、身体及び財産を守るため。								
対象 ※誰・何を対象に		隊員が災害活動時または訓練時に使用する資器材等。								
手段 ※どのように		資器材の購入、更新、修繕及び保守点検を実施する。								
成果 ※何を求めるか		活動体制を整備し消防力の強化を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	9	消防費	1	消防費	1	常備消防費	花園消防署資器材管理事業	6,812,566
本事業の 主な業務		・各種資器材の購入及び更新							・	
		・各種資器材の保守点検							・	
		・各種資器材の修繕							・	
		・災害対策に関する消耗品及び備品の整備							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・空気ボンベ・化学防護服	・空気ボンベ・消防ホース	・空気ボンベ・消防ホース・化学防護服	・空気ボンベ・消防ホース・潜水資器材	・空気ボンベ・消防ホース・潜水資器材	・空気ボンベ・消防ホース・潜水資器材
事業費	予算(現額)	7,005,000	7,339,000	8,005,000	9,432,000	7,091,000	6,576,000
	決算額	6,835,616	7,163,032	7,618,950	9,295,201	6,812,566	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	1,376,000	1,484,000	1,692,000	1,665,748	1,315,000
		一般財源	5,459,616	5,679,032	5,926,950	5,146,818	5,261,000
人件費	従事職員数(人)	0.60	0.60	1.00	1.00	1.00	1.00
	人件費相当試算※	4,667,400	4,669,200	7,861,000	8,136,000	7,761,915	8,131,348
総事業費試算		11,503,016	11,832,232	15,479,950	17,431,201	14,574,481	14,707,348

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	備品購入品目数		目標値	品目	15	7	7	4	4	4
			実績値		15	7	7	4	4	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		資器材維持管理計画に基づく購入目標数とする。 / 備品購入品目数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	保守点検実施率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		呼吸・循環管理用資器材等の保守点検実施率 / 保守点検品目数／実施数×１００							
	実績値の算出式									
成果指標 1	資器材故障時における修繕率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		資器材の故障に対する１００％の修繕を目標とする。 / 修繕数／故障件数×１００							
	実績値の算出式									
成果指標 2	災害時における資器材作動率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		災害時における資器材１００％の作動を目標とする。 / 使用数／災害数×１００							
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	各隊が使用する備品は、計画どおり購入し配備することができた。また、保守点検についても、法定、法定外に関わらず、計画的な点検を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	年度中に故障等の不備が発生した9品目全てに対し修繕を実施し、災害時における資器材の作動率100%を達成した。
			評価者 課長補佐兼管理係長 関根智和

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	同一内容の予算を持つ深谷消防課と消耗品類等を一括契約するなどによって、契約事務や予算執行を効率的に実施することができた。
			評価者 課長補佐兼管理係長 関根智和

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	資器材維持管理計画に基づき、各資器材の保守点検及び更新を効率的に実施し、新型コロナウイルス感染防止対策として、効果的な消耗品等を購入することで市民の安全、安心につなげる。
達成状況及び その効果	各資器材の保守点検、消耗品の購入を計画的に実施することができ、活動体制を維持することができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	花園消防署資器材管理事業	担当課	花園消防課	担当係	花園消防署	管理番号	4524
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div> <div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div>		評価の内容説明					
		各資器材の保守点検や消耗品、備品類の購入を計画的に実施し、活動体制を維持することができた。今後も引き続き、計画的な事業執行を行い万全な活動体制を堅持する必要がある。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	花園消防署長兼花園消防課長 小暮 誠				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	新型コロナウイルスの影響によって、消耗品や備品類の購入に関して、輸送費や原材料費等の上昇により価格高騰が続いている。また、例年よりも納期に時間を要する案件が多くなっている。これらの影響に左右されることなく、消防活動に必要な消耗品類を確実に確保するため、深谷消防課と同一内容の契約事務については、引き続き一括契約などによって購入価格の抑制を図りつつ、余裕を持った納期を確保するため、債務負担行為の設定などを検討する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	感染防止のために必要な消耗品類の供給が、新型コロナウイルスの影響によって不安定な状態が続いていることから、ディスプレイの消耗品等のうち、リユース可能な製品等の導入を検討し、感染防止資器材の確実な確保を行う。

8. 評価指標グラフ

